

小4～

空気の汚れを調べてみよう

何人でも

## あおぞらを観察しよう

2週間

野外

### 概要

大気中のちりなどが多くなると、空気の透明度が下がり、遠くのものが見えにくくなることから、どのくらい遠くのものが見えるかを調べることにより、大気の状態を知る。

### ねらい

自分たちが住んでいる町の空気の状態を知る。

### 準備物

観察場所を中心とした地図

記録用紙

筆記用具

### 進め方

活動	時間	内容	注意事項
準備	50分	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校の屋上や山の上にある公園など、遠くが見えやすい比較的高い場所を観察場所を選ぶ。</li><li>・周囲を見渡して、できるだけ黒い建物で遠くにある目標物を、いろいろな方向にいくつか定める。</li><li>・地図と見比べて、それぞれの目標物が何km程度離れているか調べる。</li></ul>	
調査	30分/日 (2週間～)	<ul style="list-style-type: none"><li>・2週間程度、毎日、正午頃に、肉眼で目標物がはっきり見えるかどうか観察する。</li><li>・目標物の形や輪郭がはっきり見えたもので、一番遠くの目標物を記録用紙に記入する。</li><li>・観察した日の天気を「晴れ」「くもり」「雨」「霧」「雪」の区別で記録用紙に記入する。</li><li>・観察結果を集計する。集計は、「晴れ」と「くもり」の日の結果だけを平均する。</li></ul>	
まとめ	50分	天気の違いにより観察結果が違ってくるかなど、気がついたことについて話し合う	

(授業の場合 準備 45分×1、まとめ 45分×1)

### 引用元参考文献

環境学習～指導者向けプログラム集～（環境省編）

### 解説

記録には、目標物の見える様子だけでなく、周りにあるものの様子についても記入する。

例) 近くに高速道路が走っている。近くに工場がある。